

戸田康之さん『ろう通訳』（2月8日配信）

戸田です。よろしく。

今日は、ろう通訳についてお話しします。

ろう通訳とは何かというと、みなさんがよく見かけるのは聴者の手話通訳ですよね。ろう通訳というのは、ろう者が手話通訳をするんです。

講演などで聴者が声で話した内容を、ろう者が聞き取ることはできませんから、舞台下にいる聴者の手話通訳、フィーダーと言いますが、このフィーダーが話の内容を聞き取り手話で表します。舞台上にいるろう通訳者は、フィーダーの手話を見てその場にいるろうの観客に合わせた手話で手話通訳をする方法のことをろう通訳といいます。

私は埼玉県のあるろう学校の幼稚部で働いていますが、幼稚部の入学式や卒業式などの行事の際、校長が声で話をする横で私がろう通訳として通訳しています。校長の話の私の前にいるフィーダーが手話で通訳し、私はその手話を見て会場にいる幼稚部の子どもたちがいつも使う手話に言い換えて手話通訳をしています。

新型コロナウイルスで4月5日と休校になってしまった時、埼玉県教育委員会の教育長が、県内の全ての学校が休校になってしまったので、子どもたちに向けて感染防止のことや家での生活についてメッセージ動画を作ろうということになりました。県内には聴者だけでなくろう者の子どももいるのだから、ろうの子どもたちにメッセージを伝えるには手話通訳も必要ではないかと、教育長から学校関係でつながりのあったろう学校の校長に問い合わせがあったんです。校長は、当然通訳は必要だし、ろうの子どもたちが見て分かりやすい通訳はろう通訳だからと、私に話が持ち込まれて通訳を引き受けることになり、教育委員会に出向きました。

同時収録ではなく、先に教育長の話は収録済みで、その話に合わせて通訳を行ったものを別で撮影し、後から教育長の映像に通訳者の映像をはめ込むという形でした。

《映像：休業中の子供たちへの教育長メッセージ（一部）》

※YouTubeチャンネル『埼玉県立総合教育センター』より

動画を見たろうの子どもたちからは、すごく分かりやすかったという声をたくさんもらいました。聴者による通訳ももちろん必要ですが、やはりろう通訳はろう者にとって分かりやすい通訳なのだと思います。これから普及していくといいなと思います。

ここ朝霞市でも今、市長のメッセージ動画を公開しています。動画には聴者の手話通訳がついています。それは良いことですが、いつか市長のメッセージ動画にもろう通訳による手話通訳がついたらいいなあと思っています。